



# 第11回 交通安全 高齢者自転車大会



10月7日（水）、守山市民体育館において、「交通安全高齢者自転車大会」が行われました。合計84名の高齢者のみなさんが4人1組でグループをくみ、21チームが参加されました。実技テストでは自転車の安全な乗り方のテストで、実技テストコースを使用して行われました。まず最初に発進では、安全確認をして発進し、示されたコースへ進行していきます。信号では自転車横断帯を通行し、コーナー手前で停止し、降りて自転車の向きを変えてまたがり、対面する信号が青になったら発信するなどとの参加者も慎重に実技テストに取り組まれていました。



見通しの悪い交差点。  
大事な確認です。



今年も高齢者の交通死亡事故は多く発生しており、そのうち自転車の死亡事故は4件で4名の方がお亡くなりになり、15.4%を占めています。

自転車の安全な走行には「身体能力の向上」が必要になります。「バランス」を取ることでふらつきをなくし、安定した運転を行うことができます。また、「安全確認」を意識することで大きな事故に巻き込まれることも減ります。高齢者事故をなくすためにも自転車大会を通して安全運転を意識し、身体能力も普段の生活の中で高めていくきっかけになればと思います。



バランスを取ることが  
大変難しいです。



ジグザグ走行



<b>表彰</b>	団体の部	
優勝	東近江地区	東近江A
準優勝	草津・栗東地区	あおばな
第3位	近江八幡地区	近江八幡A